

Information

第5回神戸看護学会学術集会 (WEB開催)

日程▶10月24日(土)

配信期間(オンデマンド)▶10月24日(土)~11月30日(月)

プログラム▶集会長講演「看護の原点回帰—Comfortの視点から」江川幸二(神戸市看護大学)／教育講演「新たな時代を築く看護の構想力」南裕子(神戸市看護大学)／シンポジウムA「看護実践から臨床知を見出す—日常的なケアに隠れている知の探究」／シンポジウムB(緊急企画)「新型コロナウイルス感染症への看護職の新たな挑戦」①「医療機関からの報告」②「行政からの報告」③「地域関連施設からの報告」④「教育機関からの報告」／一般演題(誌上発表のみ)

参加費▶会員4000円、非会員5000円

参加登録期間▶11月6日まで

申込方法▶学術集会ホームページの参加予約フォームより

問い合わせ先▶事務局

〒651-2103 兵庫県神戸市西区学園西町3-4 神戸市看護大学内

☎ gakujuysu@kobeans.jp

https://gakujuysu.kobeans.jp/

日本在宅医療連合学会第2回 地域フォーラム(WEB開催)

日程▶10月24日(土)~25日(日)

テーマ▶在宅よかばいアジアでやらんねー福岡からアジアにつながる在宅医療と多職種連携の発展

プログラム▶基調講演①「新型コロナ禍における在宅医療の在り方」大石佳能子(メディヴァ)、②「安心して集える第3の居場所—暮らしの保健室やマギーズセンターから学ぶ(仮)」秋山正子(マギーズ東京)、③「中小病院が担う在宅医療のあゆみらい」本田宜久(顕田病院)／シンポジウム①「アジア在宅医療交流シンポジウム」、②「在宅医療連携拠点事業のその後—在宅医療・介護連携推進の今後の展望(仮)」大石一也(九州厚生局)ほか／ワーク

ショップ①「想いを繋げる退院前カンファレンス」末松希祥ほか、②「人材育成地域を支える医療・介護スタッフの教育・キャリアアップについて」中島卓也ほか、③「介護施設における看取りケアの現状と考え方・手順・心構え」松本直人ほか、④「在宅医療における病院の役割・病院と診療所の連携」北澤彰浩ほか、⑤「在宅での緩和ケアに必要な急性期医療との連携—救急×緩和ケアのコラボレーション」森田洋之、⑥「“おうち楽しい”を支えるために—小児在宅における医療制度や福祉制度の解説」川下友見ほか、⑦「薬剤師による在宅訪問の現状とこれから」高橋俊輔、⑧「居住系施設における新型コロナウイルス感染症対策」大友宣／市民公開講座「市民の手による、市民のための『フレイル予防』(仮)」飯島勝矢(東京大学)

参加費▶[会員] 医師・歯科医師4000円、医師・歯科医師以外2000円、学部学生・初期研修医1000円、有資格大学院生2000円、[非会員] 医師・歯科医師・企業5000円、医師・歯科医師以外3000円、学生(大学院は除く)1000円

申込方法▶下記URLの「参加申込」ボタンより

問い合わせ先▶事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-7 お茶の水サニービル7階

☎ FAX 03-5802-3490(担当:増田)

☎ zaitaku@juntendo.ac.jp

https://service.kktcs.co.jp/smms2/event/zaitaku/17

第51回日本看護学会 学術集会(Web開催)

開催期間▶11月1日(日)~11月30日(月)

開催領域▶看護管理/急性期看護/慢性期看護/看護教育/ヘルスプロモーション/精神看護/在宅看護

*7領域すべてのプログラムを同時配信。
詳細は下記ホームページより

論文投稿期間▶12月1日(火)~27日(日)

*演題登録者は、学術集会での当日発表はないが、抄録集への抄録掲載をもって学会発表したものとみなし、論文投稿が可

能

参加登録費▶会員9900円、非会員1万4850円、学生4400円

参加受付▶10月1日(木)~11月15日(日)

*開催期間中、何度でも視聴可能

申込方法▶下記ホームページ参照

問い合わせ先▶日本看護協会看護研修学校教育研究部学会企画課

〒204-0024 東京都清瀬市梅園1-2-3

☎ 042-492-9120(平日10:00~16:00)

FAX 042-492-9048

☎ jnagakkai@nurse.or.jp

https://www.nurse.or.jp/nursing/education/gakkai/index.html

第49回日本医療福祉 設備学会(Web開催)

日程▶11月11日(水)~12日(木)

テーマ▶危機に立ち向かうホスピタル・エンジニアリング—COVID-19、災害への備えと対応

配信期間▶11月23日(月・祝)まで

問い合わせ先▶事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷3-39-15 医科器械会館3階 日本医療福祉設備協会内

☎ 03-3812-0257

FAX 03-6240-0690

☎ hc-setsubi0919@heaj.org

https://www.heaj.org/gakkai/2020/index.html

第15回医療の質・安全学会 学術集会(Web開催)

日程▶11月22日(日)~23日(月・祝)

テーマ▶「予期しない死亡」にどのように対応し、次へ繋げるか—「医療事故調査制度」開始5年を経て

問い合わせ先▶運営準備室

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞が関ビル14階 日本コンベンションサービス内

☎ 03-3508-1214

FAX 03-3508-1302

✉ 15jsqsh@convention.co.jp
https://site2.convention.co.jp/15jsqsh/

第22回日本救急看護学会 学術集会 (Web 開催)

日程▶12月1日(火)~31日(木)

テーマ▶危機の時代と救急看護

プログラム▶会長講演「危機の時代と救急看護」作田裕美(大阪市立大学)／特別講演①「臨床看護の危機」坂本すが(東京医療保健大学)／②「現代社会の危機」藤井聡(京都大学)／教育講演①「知らないではない人権の話」谷口真由美(大阪芸術大学)／②「人生100年時代を働く女性のライフコース」斧出節子(京都華頂大学)／③「あいりん地区の現状」福原宏幸(大阪市立大学)／④「救急医療における臨床推論の方法」溝端康光(大阪市立大学)／⑤「わが国の巨大災害と防災法制度の欠陥」河田恵昭(関西大学)／⑥「救急医療における看護師の危機対応能力」木澤晃代(日本大学病院)／⑦「わが国の超高齢社会と医療・福祉のゆくえ」村上正泰(山形大学)／⑧「救急現場で働く人たちのキャリアに関すること」勝原裕美子(オフィスKATSUHARA)／⑨「重度熱傷後の皮膚治療」森田栄伸(島根大学)／⑩「救急医療から見る虐待」毎原敏郎(兵庫県立尼崎総合医療センター)／⑪「貧困と健康格差社会」松田亮三(立命館大学)／⑫「環境問題が人間の生活に及ぼす影響」大島堅一(龍谷大学)／シンポジウム①「救急看護と二次的トラウマ」川谷陽子(愛知医科大学病院)ほか／②「都市の貧困と健康問題・救急医療」奥村晴彦(大阪社会医療センター附属病院)／③「外国人受け入れ政策—外国人労働者の就労問題 健康問題」室伏謙一(室伏政策研究室)ほか／④「救急領域におけるタスクシフト・タスクシェアを考える」加藤正哉(和歌山県立医科大学)ほか／パネルディスカッション①「救急看護の今とこれから」高野裕子(和歌山県立医科大学附属病院)ほか／②「限界集落の健康問題と救急医療」杉岡秀紀(福知山公立大学)ほか／③「119番の危機」稲村あづさ(北野病院)／④「救命のその後」安田冬彦(洛和

会音羽病院)ほか／市民公開講座「音楽にのせて楽しく学ぼう、救命講習」山畑佳篤(京都府立医科大学)／会員企画セッション①「心停止ゼロを目指した救命教育の普及と救急看護師の役割」星豪人(日本臨床救急医学会)ほか／②「みんなで学ぶ救急現場の社会的アセスメント」瀧澤紘輝(神戸市立西神戸医療センター)

＊プログラムは変更の可能性あり

参加費▶会員1万1000円、非会員1万3000円、学生3000円

参加登録締切▶12月31日(木)

参加登録方法▶下記URLの「参加登録」ボタンより

https://site2.convention.co.jp/jaen22/jizen/

問い合わせ先▶運営事務局

〒541-0042 大阪府大阪市中央区今橋4-4-7 京阪神淀屋橋ビル2階 日本コンベンションサービス内

☎ 06-6221-5933

FAX 06-6221-5939

✉ jaen22@convention.co.jp

https://site2.convention.co.jp/jaen22/

日本発達障害学会 第55回研究大会 (Web 開催)

日程▶12月26日(土)~27日(日)

テーマ▶ダイバーシティ社会に向けて—支援からエンパワーメントへの転換

プログラム▶大会実行委員長講演「ダイバーシティ社会に向けて—支援からエンパワーメントへの転換」小澤温(筑波大学)／記念講演「当事者活動の力学—ディスパワー・エンパワメント・パワーlessness」熊谷晋一郎(東京大学)／特別講演「知的発達障害者の支援を考える—生涯発達支援と地域支援の視点から(仮題)」菅野敦(日本発達障害学会)／教育講演①「日本の保健・福祉・医療・教育政策の動向からみた子ども支援の方向性について—連携、ダイバーシティ、エンパワーメントの視点から」西牧謙吾(国立障害者リハビリテーションセンター)、②「発達障害のある人の参加を促す目標設定とフィードバックの活用」野呂文行(筑波大学)、③「発達障害

の理解と支援—病気？ 個性？ どちらも違います」宮本信也(白百合女子大学)、④「知能検査の“正しい”理解—課題の自覚と効果的な努力を導くために」大六一志(元・筑波大学)／学会企画シンポジウム「就労支援に関する内容」梅永雄二(早稲田大学)ほか／実行委員会企画シンポジウム①「特別支援教育における新指導要領に関する内容」中村大介(文部科学省)ほか、②「障害者の高齢化問題に関する内容」／③公開セミナー「相談支援の地域における人材育成の取組を考える—相談支援専門員研修の新たな研修のねらいと展望」菊本圭一(日本相談支援専門員協会)ほか／実行委員会企画 ワールドカフェ&ラウンドテーブル①「子ども主体って、何だろう？」関剛規(国立障害者リハビリテーションセンター)ほか、②「触法関係の内容」／ほか

参加費▶[事前申込] 正会員6000円、非会員7000円、学生3000円、[当日申込] 正会員7000円、非会員8000円、学生4000円

事前登録方法▶下記URLの「参加申込ボタン」から

http://jasdd55.jp/registration.html

事前登録締切▶10月30日(金)

お問い合わせ先▶大会事務局

✉ jasdd552020@gmail.com

http://jasdd55.jp/index.html

＊掲載している情報は9月4日時点のものです。最新の情報は主催元をご確認ください。